

令和元年度第2回川崎市産業振興協議会中小企業活性化専門部会

会 議 録

1 開催日時

令和元年11月15日（金）10時00分～11時00分

2 開催場所

川崎市役所 第3庁舎 11階会議室

3 出席者

(1) 委員（7名）

遠山委員（専修大学経済学部教授）、中山委員（横浜市立大学国際商学部教授）、岩井委員（川崎商工会議所常務理事・事務局長）、大西委員（神奈川県情報サービス協議会常務理事）、出口委員（川崎市商店街連合会青年部相談役）、星野委員（神奈川県中小企業家同友会政策委員長）、山根委員（川崎建設業協会副会長）

(2) 事務局

朝比奈経済活性アドバイザー

経済労働局産業政策部長、企画課長、企画課担当係長、企画課職員

4 議題（公開）

(1) 平成30年度中小企業活性化施策報告書について

(2) 令和元年度中小企業活性化施策の検証の進め方について

5 傍聴者

なし

6 会議の内容

(1) 及び(2) 中小企業活性化条例に基づく施策検証について

事務局より下記資料について説明

- ・平成30年度中小企業活性化施策報告書について
- ・令和元年度中小企業活性化施策の検証の進め方について

(以下、議事録)

●議事1 平成30年度中小企業活性化施策報告書について

岩井委員

平成30年度の報告書について、市議会にいつ報告し、その際に議員からどのような意見があったかを教えて欲しい。

企画課長

令和元年8月28日の総務委員会で報告した。今年度は特段の意見はなかったが、昨年度は19条(受注機会の増大)について、分離分割発注等の取組みについて言及があった。

出口委員

報告書は項目ごとによくまとまっていると思うが、他方で、まとめすぎている印象がある。そのため、文字も小さくなり読みにくいところもある。見やすくするために緩急(メリハリ)をつけてもいいのではないかと思う。

企画課長

サマリーを別途作成するなど工夫している。

産業政策部長

注目事業はコラムを掲載するなど、ご意見を踏まえ作成させていただいた。

出口委員

コラム的に掲載していただくのは状況報告の趣旨に沿うものだと思う。その上で、例えば、認定された企業等について、その後の状況を経年的にフォローアップしていくことで、事業の将来的な展望をイメージしやすくなるのではないかと思う。

朝比奈アドバイザー

現在、8つの自治体で産業行政のアドバイザーをしている。中小企業に関する振興条例に関して、川崎市は最も進んでいる自治体の1つだと思う。検証には3つステージがあると考えており、①しくみづくり、②報告書づくり、最後に、③インパクトを残すことである。

アウトプット指標が中心であるが、インパクトを残すためにはアウトカム指標が重要。1社、2社でもよいので、アウトカムで成果を示せるとよい。例えば、起業家オーディションや補助金採択企業等の支援実績のある企業から上場企業が創出されるようなことがあれば、象徴的事例となる。オーディション等は歴史ある事業なので、きっと成果が出ている企業もあると思う。

企画課長

新川崎エリア等に入居している企業にも上場の可能性が高い企業がいる。もし、上場したら事例として報告書でも掲載したいと考えている。

指標は総合計画と連動しており、総務企画局との調整の中でも、経済労働局所管事業の指標はアウトプット指標が多いと指摘を受けており、課題として認識している。

朝比奈アドバイザー

また、条例は市全体の取組みが対象となるので、経済労働局の事業に限る必要はないと思う。他局の中小企業に関する事業成果をPRすることを考えてもよい。

遠山部会長

川崎市産業振興財団等と協力して、支援した企業のフォローアップを実施しながら、成果を出している企業を拾えばよい。

●議事2 令和元年度中小企業活性化施策の検証の進め方について

星野委員

検証作業について。自社は製造業を営んでおり、医療器具製造等にも携わっているため、医工連携等推進事業はイメージできる。ただ、その他担当となっている農業や内陸部操業環境保全対策事業等は、検証にあたって現場を拝見し、経営者の話を伺ってみたい。他業種の立場からチェックすることでより現状に即した意見が出ると思う。

遠山部会長

その通りだと思う。そういう意味で、商業振興関連事業を商店街課題対応事業とまちづくり連動事業に分けたのは良いと思う。商店街と川崎駅周辺の取組みとは観点が異なる。

山根委員

条例の施行から3年経過した。市内企業がこの条例をどう認識しているか、アンケートなどを活用し調査してみてもどうかと思う。

取り上げる事例は先端で頑張っている企業が多い印象。例えば福祉事業者や社会福祉法人等、あまり注目されていない事業者や古くから活動する事業者の事業所（ビル、社屋等）の建て替えニーズなどがあると聞いた。そうした事業者も活性化できるような施策を検討できればと思う。

中山委員

拝見したほうがよい事業もあれば、説明でよい事業もある。例えば、部会開催時などに経営者に取組説明等をしていただくことでもよいと思う。

朝比奈アドバイザー

部会の構成メンバーに金融機関が入っていない。金融事業は行政や中小企業支援と密接に関わっているので入ってもらおうとよいと思う。

企画課長

親会である産業振興協議会において、川崎信用金庫と横浜銀行に委員として参画いただいている。

岩井委員

担当から事業説明をいただく際に、その事業を課題や懸念事項等を併せて教えていただけるとありがたい。そうすると実績値の背景を把握でき、検証作業に際してコメントがしやすくなる。

星野委員

確かに、成果ありきでない実務レベルの説明をいただくとありがたい。また、幅広い事業を検証対象としているが、一方で議論が拡散している印象もある。一定の視点を持って、

検証事業を絞り込んでいくことで、「川崎市」の条例らしさが出てくるのではないかと。
朝比奈アドバイザー

18条にある海外展開支援については、本条例施行当時は、条例で明記している自治体は川崎市の条例しかなかった「ならでは」の項目である。そうした打ち出しは大切。

遠山委員長

では、以上で本日の議題は終了とする。

草野産業政策部長

ご多忙の中、ご参加いただき感謝。事業検証等について今後とも協力をお願いする。

以 上